

1 事業概要

事務事業名		勤労青少年ホーム運営事業		課名	公民館	事業No.	321
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画			
法令・例規等			社会教育法				
			飯田市勤労青少年ホーム条例				
			消防法等の施設保全上の関係法令				
事業目的		対象	勤労青少年ホーム利用対象者				
		意図	勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	勤労青少年ホーム、勤労者体育館の貸し出しを行いました。施設の維持・管理、設備等の保守点検・修繕等の業務を行いました。第二体育館で雨漏りが発生したため、屋根の改修工事を行いました。 平成30年度から指定管理者による管理が開始できるように、条例の改正、公募による指定管理者の選定、協定書の締結等の事務を進めました。		臨時職員賃金				5,574	
			講師謝礼				663	
			光熱水費				1,753	
			委託料				2,907	
			工事請負費				9,126	
	その他の経費			879				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	勤労青少年ホーム利用者数		人	6,048	6,230			
	第一・第二体育館利用者数		人	34,790	45,744			
29年度 決算 (千円)	予算額		23,108	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		20,902	(そ) 勤労青少年ホーム使用料 138千円				
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 勤労者体育館使用料 776千円				
		県支出金	0	(そ) 諸収入 603千円				
		地方債	0					
		その他	1,517					
一般財源		19,385						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	14	2	23,108	20,902	勤労青少年ホーム管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	利用者数が減少傾向にある中で、青少年層の現代的な課題を把握して新たな事業等を展開する必要があります。
上記の課題解決のための有効策	今までの学習活動に加えてスポーツ面での事業を開拓していくことやニート・引きこもりの青少年を対象とした若者の居場所づくりを他関係団体と連携して取り組むことです。
次年度に向けての取り組み	平成30年度から指定管理制度に移行します。新たな企画事業を実施しつつ、施設の利便性を向上させて利用者目線にたった運営が行えるように指定管理者と情報交換を行いながら取り組んでいきます。